

2018年～2019年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションに
なろう

2018～19年度 国際ロータリー会長
バリー・ラシン 氏



「平成土浦百景：川口町 写真 せき こう氏」

2018～2019年度(第61期 沼田年度)

7月第3例会プログラム

7月19日(第2947回) VOL. **3**

- 点 鐘
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 今期事業方針発表
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

- 会 長
- 奉仕の理想
- 親睦活動委員会
- 理事・委員長
- S.A.A
- 出席委員会
- 会 長
- ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI (国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創 立 1958年2月14日(昭和33年)
承 認 1958年3月 7日(昭和33年)
事務局:土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 沼田 義雄 幹事 佐藤ばうろ

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場: L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

第61期 事業方針発表

会員組織委員会 委員長 竹内 崇

事業計画

1. 会員数65名を実現するため、会員増強の更なる強化
2. 職業分類表の刷新と時代に合った新しい職業分類の新設
3. 伝統と格式のある当クラブに相応しい会員の選考
4. ロータリアンとしての誇りと自覚を持てる教育プログラムの新設



委員長所見

構成する3委員会が連携し、沼田会長が目指す会員数65名の実現を目指します。そのために、新たな会員増強の手法を検討いたします。

また、伝統と格式ある当クラブに相応しい会員を厳格に選考し、入会後もフォローすることは勿論、新たな教育プログラムを新設し、会員の資質向上に努めてまいります。

委員会テーマ

- ・会員増強委員会 ～会員数65名の実現と70名への足がかり～
- ・職業分類・会員選考委員会 ～職業分類の更なる充実と厳格な会員選考～
- ・ロータリー情報委員会 ～新たなスター育成のため、プログラムの新設～

会員増強委員会 委員長 大場傳美

事業計画

「会員増強と退会防止」の目標達成の為、委員の皆様と協力し会員65名を目指します。

1. 創立60年の歴史と伝統を誇る土浦RCに相応しい方の入会獲得に努めます。
2. 土浦RCの組織運営資金の重要性を全会員に理解・認識してもらい、新入会員獲得に協力していただきます。
3. 土浦RCに相応しい会員候補者の情報提供を全会員にお願いします。
4. 次年度62期年度とも連携し、会員増強を図ります。



クラブ管理運営委員会 委員長 飯山孝之

事業計画

クラブ管理運営委員会は、ロータリークラブの心臓部とも言える委員会であり、クラブの効果的な運営を計り、各自が実践することにより目的が達成されるよう推進してまいります。

1. クラブ活動の企画と運営の充実



2. クラブの2本柱「奉仕」と「親睦」の充実
3. クラブ例会及びプログラムの充実
4. 地域社会に発信する公共イメージのアップの取組みと充実

委員長所見

各委員会の事業計画に基づき、クラブの効果的かつ円滑な運営を目的として委員の方々と連携・協力しながら進めてまいります。

出席委員会 委員長 片岡康治

事業計画

1. 出席率を上げる為にコミュニケーション向上を図る
2. 委員は会場入りする会員に率先的に会話を心がける
3. 会員推薦者の方（スポンサー）は連絡網をつくり大変とは思うがなるべく出席を促す
4. 閉会後の見送り時も率先的に会話をして次回の例会に繋がるように心掛ける



委員長所見

RCは参加しない事には何も始まらない出席率の低い人をどう参加させるか。テーブルチェンジの時にメンバー確認や配慮し参加しやすい工夫も必要かと思う。

しかしやはり推薦者のお声掛けが一番大切と思うので組織的に出席を促してもらいたい。

親睦活動委員会 委員長 藤田雪絵

事業計画

1. 例会時の会員及び来訪者の出迎えを行い、例会に於いて来訪者の紹介をする
2. ゲスト卓話者を幹事、SAA、プログラム委員会と協力し歓迎する
3. 誕生祝、結婚記念祝、入会記念祝を毎月、年男・女のお祝いを年頭に行う
4. 家族懇親会等クラブ内行事の企画運営をする
5. 地区、分区行事等への協力をする
6. 各種同好会活動への協力をする
7. その他会員相互の親睦の為の企画の検討を行う



委員長所見

第61期クラブ方針の一つである「楽しく魅力ある例会」の運営に協力できるよう、そして会員相互の親睦が図れるよう努力して参ります。

プログラム委員会 委員長 中島賢一

事業計画

1. 61期クラブ方針に基づき、充実の70周年に向けて確かな一歩を刻むため、魅力ある例会の運営を目標にプログラムを作成します。
2. 前年度は1週目に、会長挨拶、各種記念日のお祝い、ロータリーの友の紹介を行ってきましたが、第1週目が慌ただしくなってしまう、全てのプログラムを十分にこなせない事もあったため、各種記念日を第1週と2週目に分けて行います。
3. より多くの会員のお話を聞きたいので、各種記念祝いを貰った方の代表者から、近況や記念日に関わるお話を聞きます。



委員長所見

本年度は、第1週と第2週に各種記念日を分ける事により、記念日の代表会員からお話を聞く時間を取ることができます。

また第2週目のロータリーの友の紹介もより詳しく聞くことができると思います。

楽しく魅力ある例会を運営できるように、外部卓話の内容にも配慮して計画していきます。

クラブ会報委員会 委員長 菊池信子

事業計画

土浦クラブの和やか、格調高い会報作りを、

1. 正確で、読みやすく、趣旨をわかりやすく、写真も多めに利用して活動を伝える。
2. 各委員会と協力し、卓話の原稿依頼・委員会の事業計画情報を掲載
3. 今年度は、会長方針により65部から80部へ増刷。会員増強に力を入れる為、外部への発信
4. 1ページに土浦在住のフォトグラファー関様の写真を掲載
5. 昨年に引き続き「より身近に、より親しみやすく」を感じていただける会報作りを心掛けていきたい。



公共イメージ委員会 委員長 竹中廣夫

事業計画

1. 「ロータリーの友」を活用し、ロータリーの理解を図る。
2. 「ロータリーの友」に投稿し、土浦ロータリークラブ名の掲載を目指す。
3. 会員企業のメディアを通じてロータリーの活動情報を発信する。



4. ロータリー情報館、ホームページの活用。

ロータリー財団委員会 委員長 高木博昭

事業計画

1. ロータリー財団月間（11月）での例会担当
2. 上記の月間には例会場入口に寄付コーナーを設ける
3. 地区財団寄付目標額として、
 - ・会員一人150ドル（年次寄付130ドル、ポリオ20ドル）
 - ・ベネファクター（1,000ドル）一人以上
4. 人道的奉仕活動の重点化



委員長所見

ロータリーは理念の提唱ではなく実践であること、奉仕するものは行動しなければならないとされています。「BE THE INSPIRATION」をテーマに、行動するロータリアンを。

米山記念奨学委員会 委員長 黒田喜文

事業計画

1. 奨学事業の理解促進
 - ① 奨学生との交流に努め、事業の意義を広める。
 - ② 米山月間（10月）に、会員の理解を深めるため、例会を主管する。
 - ③ 会員の理解を得て、全会員より特別寄付をお預かりできるように努力する。



2. 寄付の目標

普通寄付 5,000 円×60	300,000 円
特別寄付（1人30,000 円以上目標）	2,100,000 円
個人寄付	1,500,000 円
法人寄付	300,000 円
クラブ寄付	300,000 円
合計	2,400,000 円

3. 今年度の奨学生とカウンセラー

奨学生 エー エー テン
(AYE AYE THINN)

国籍 ミャンマー

性別 女性

学校 筑波大

生年月日 1990年6月28日

カウンセラー 平島隆之会員

世話クラブ 土浦RC

準世話クラブ 石岡RC

私の一言

会長 沼田 義雄

現在、霞ヶ浦のワカサギ漁はトロール漁で一挙に収獲をします。かつてのワカサギ漁は帆曳船で、帆に一杯風をはらませた幾艘もの舟でワカサギを収獲しました。この方法でワカサギ漁は成功したそうです。

そこで、私の経営する幼稚園・保育園の園章は、すべて帆曳船をモチーフとした船のマークにの名前を入れております。私のねらいは、帆に風を一杯はらみ、前進はあっても決して後退はしない力強い姿を表現しようとしたものであり、このことは土浦ロータリーの本旨にも適うものと思います。

ロータリーは今から113年前、創立者と云われた弁護士のパール・ハリス他3名(鉱山技師・石炭商・洋服商)により、1905年2月23日に開設されました。その後、日本に日本ロータリーとして1920年(大正9年)10月20日創立

され、1921年4月1日、世界で855番目の国際ロータリークラブとして承認されたのです。

今年度RIは、バハマ出身のバリー・ラシンです。テーマは(インスピレーションになる)です。ラシンRI会長は、ロータリアンは「感化を与える人」「意欲を引き出す人」になる、そしてロータリーは「地域と世界に向けて、手を取り合って持続的な変化を生み出しましょう」と訴えています。また、その指標となる「会員の増強」「新たな国際奉仕プロジェクトの創設」などの達成に向けて努力して参りたいと考えております。

また、2820地区の高橋賢吾ガバナーは、今年度地区スローガンを「ロータリーの心と力を地域社会へ」としております。そこで我々土浦ロータリーのスローガンとして「充実の70周年に向けて確かな第一歩」といたしました。これからも皆様の御協力をよろしくお願い致します。